



2024年12月7日

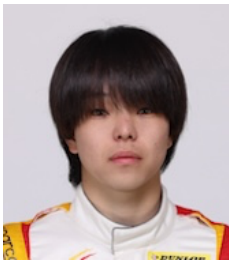
株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

## FIA-F4 選手権 第7/8戦 予選上位コメント

### ■ チャンピオンクラス (第7戦 予選1位/第8戦 予選1位)

洞地 遼大【#51 HFDP Racing Team】



「昨日の練習走行で調子が良く、今日はダブルポールが獲れると思っていました。その予定通りの結果になって良かったです。路面温度がかなり低くウォームアップはいつもより多めにやることになりましたが、アタックラップの時はちゃんと温まっていたコンディションも良かったので、タイムも伸ばすことができました。タイトルはもちろんまだ諦めていませんが、タイトルよりもまずは優勝することを目標にレースには挑みます。レインコンディションの前回大会ではスタートを失敗しましたが、今回はドライだし大丈夫だと思っています。緊張せず、しっかりとスタートを決めたいと思います」

### ■ チャンピオンクラス (第7戦 予選2位/第8戦 予選2位)

野村 勇斗【#50 HFDP Racing Team】



「昨日の練習走行の序盤、慎重に行くはずが思った以上に路面が冷えていて自分のミスでクラッシュしてしまい“ヤバい”という感覚がありました。マシンはチームが完璧に直してくれて予選はトラブルなく走ることができたのですが、新品（タイヤ）でのアタックシミュレーションができていなかったことで今ひとつアジャストしきれなかった感じです。そんな状況の中で2位になれたことは嬉しいですが、昨日のアクシデントがなければポールを獲れる勢いはあったので、悔しい気持ちもあります。優勝しなくてもチャンピオンを決めることができる状況ですが、最後が地元鈴鹿ということで勝ちたい気持ちの方が強いです。決勝は攻めています！」

### ■ チャンピオンクラス (第7戦 予選3位/第8戦 予選4位)

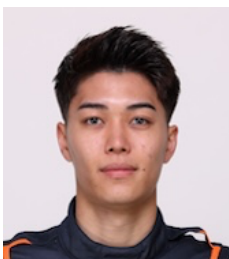
新原 光太郎【#16 YBS Verve 影山 MCS4】



「昨日の練習走行で調子が良く、このままいけばポールも狙えると思っていただけに、ホンダ（HFDP）の2台にぶつちぎられたのは悔しいですね。自分としてはしっかりとアタックをまとめられた感触があった中で昨日からそうタイムは変わっていないので、ホンダの2台が今日のコンディションによりうまくセットを合わせてきたということだと思います。昨日よりも低くなった路面（温度）に、自分はちゃんと合わせ切れていなかったのかもしれませんが。残り2レース、今シーズンまだ果たしていない初優勝を目指して頑張ります！」

### ■ チャンピオンクラス (第7戦 予選5位/第8戦 予選3位)

森山 冬星【#62 HELM MOTORSPORTS F4】



「(今季は) 後半戦から調子を落としていた中、久々の予選トップ3になりますが、鈴鹿には元々自信を持っていたしテストもできていたので、決して調子が上がってきたというわけではありません。今日のマシンも乗りやすくて、アタックにミスがなかった結果、なんとかタイムを振り絞れたという感じです。レースでは自分の強みをしっかりと出して、2戦とも表彰台に上げられるよう頑張ります」

## ■ インディペンデントクラス (第7戦 予選1位/第8戦 予選2位)

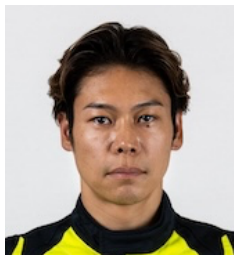
鳥羽 豊【#63 HELM MOTORSPORTS F4】



「久々のポールということで、純粹に嬉しいです。最初のアタックは結構失敗していて、それがなかったらダブルポールだったと思います。逆バンクやダンロップではアンダー（ステア）が出ていましたが、それ以外はすごく良い感じで走ることができました。昨日の（練習）走行の動画を見た（同じチームでGT300車両で走る）平木玲次さんに『きれいにまとめようと、こじんまりと走っていますね』と言われてすごくムカついて（笑）奮起して、今日はとことん攻めようと思っていました。それが結果に繋がって良かったです。最後の2レースは、ここまでの結果が結果ですし、周り（の選手）もすごく速くなっているので、とにかく無心で挑んで、気持ちよく終わりたいです」

## ■ インディペンデントクラス (第7戦 予選2位/第8戦 予選1位)

KEN ALEX【#9 BUZZ RACING】



「今日は気温が低くてウォームアップが難しく、序盤は赤旗を出さないよう慎重に走っていました。その後チームからトップより1秒も遅れていると聞いて、まだ行けると思いそこからフルブッシュしました。クルマの調子はすごく良く、グリップはかなり高かったです。最後のアタックで引っかかっていなければ、ダブルポールは間違いなかったと思います。今年3月に初めてFIA-F4に乗って、序盤戦は何もわからないままレースをやっていましたが、優秀なコーチとチームのおかげでここ2~3大会は“乗れている”感覚を持っています。最後2戦は来年に向けて、良いレースがしたいです」

## ■ インディペンデントクラス (第7戦 予選3位/第8戦 予選3位)

今田 信宏【#44 JMS RACING with B-MAX】



「すごくストレスがたまる予選でした。逆転チャンピオンのためにはダブルポールが必須でしたが、ちょっとペースが足りなかったですね。原因は分かりませんが、もう1周あればもう少しタイムを伸ばせたかなという感じです。（タイヤの）内圧が十分ではなかった気もするし……、いずれにしても何か足りなかったのだと思います。（クルマの）感触は決して悪くなく、クリアラップもとれていました。でも純粹に、鳥羽選手もKEN ALEX選手もすごく速かったと思います。レースに向けては、今回は気温が低くフォーメーションラップでは十分タイヤを温めることができないと思うので、1周目はチャンス。そこでオーバーテイクできるよう頑張ります」